

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第三中学校

●全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

| | 課題が見られた問題の概要 | 正答率 | 調査結果を踏まえた成果 | 調査結果を踏まえた課題 |
|----|----------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。 | 47.40% | 「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる」という問題は正答率80.2%、無答率5.2%で都、全国の平均を大きく上回った。短作文でもよい文章を書いた生徒の紹介等をしてきた成果と考えられる。 | 古文と現代文の融合問題の正答率が都、全国の平均より低かった。現代仮名遣いに直すことや、原文の中から対応する現代文の語句を抜き出すことなど、古文の基本をきちんと指導していきたい。 |
| | レポートの下書きの一部について。分の一部を直す意図として適切なものを選択する。 | 56.00% | | |
| | 長文の中の語句も対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す。 | 71.60% | | |
| | インターネットの記事を読んで気づいた点として適切なものを選択する。 | 64.70% | | |
| 数学 | 四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる | 71.80% | 「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる」問題では、正答率47.9%で都のが37.1%で10ポイント上回っていた。デジタル教科書など図形の範囲でICTを活用している効果だと考えられる。 | 「累積度数の意味を理解しているかどうかをみる」問題では22.2%で都の平均46.5%と下回った。データの分析に関する問題の理解度が低い傾向にあるので、資料を読み取る力や基礎的な言葉の指導を行う。 |
| | 累積度数の意味を理解しているかどうかをみる | 22.20% | | |
| | 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる | 47.90% | | |
| | 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる | 32.50% | | |
| 英語 | 日常的な話題について短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる問題 | 28.40% | 「聞くこと」の調査は、5問中3問が東京都も全国も平均を大きく上回った。ALTの授業で会話練習の機会を増やした成果だと考えられる。 | 物語や説明文の読解では、各段落ごとの主な内容を捉える練習と、内容に関する感想や考えを話す・書くという活動を組み合わせて継続していくことが大事である。 |
| | 日常的な話題について自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題 | 43.10% | | |
| | 社会的な話題に関して読んだことについて考えとその理由を書くことができるかを見る問題 | 14.70% | | |
| | 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかを見る問題 | 18.10% | | |